

登録コード	E4620900	開講年度	2026				
授業科目	中等数学科指導法基礎					担当教員	榎本 哲士
英文授業名	Introduction of teaching methods of secondary school mathematics					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・5時限	対象学生	
講義室	教育N201講義室	授業形態	講義	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				中等数学科の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観を身につけることができるようになる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				中等数学科の教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能を習得することができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、多文化協働、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	中等数学科の各領域で扱われる学習内容・活動とその意味及び価値について知り，生徒の学習状況を科学的エビデンスに基づいて把握するとともに，こうした理解に基づいて基盤的事項及び発展的事項に関する学習指導案を作成し，模擬授業などを通して学習指導に対する使命感や倫理観を身につける。（担当教員が中学校での実務経験を活かして授業を行う。）						
(5)授業計画	第1回：領域「数と式」の基礎知識（基礎） 第2回：領域「数と式」の指導に関する基礎知識（発展） 第3回：領域「数と式」の指導に関する基礎知識（応用） 第4回：学習指導案の作成：指導の基本要素＋【まとめ】の作り方 第5回：領域「図形」の指導に関する基礎知識（基礎） 第6回：領域「図形」の指導に関する基礎知識（発展） 第7回：領域「図形」の指導に関する基礎知識 ICT活用（応用） 第8回：学習指導案の作成：【まとめ】→学習課題と確認問題 第9回：領域「関数」の指導に関する基礎知識（基礎） 第10回：領域「関数」の指導に関する基礎知識（発展） 第11回：領域「関数」の指導に関する基礎知識（応用）【STEAM教育含む】 第12回：領域「データの活用」の指導に関する基礎知識（基礎） 第13回：領域「データの活用」の指導に関する基礎知識 ICT活用（発展・応用） 第14回：学習指導案の検討・修正（授業アンケートの実施）						
(6)成績評価の方法	中等数学科の専門家に求められる使命感や倫理観，専門的な知識・技能について，小テスト（70％）とレポート（30％）の得点により評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上→秀， 89-80％→優， 79-70％→良， 69-60％→可， 59％以下→不可。						
(7)成績評価の基準	数学教育の基盤的事項と学習指導案の作成について授業で扱った内容と同レベルの問題が解ければ「水準にある」，その上でいずれか一つについて発展的な問題が解ければ「やや上にある」，二つについて発展的な問題が解ければ「かなり上にある」，三つ以上について発展的な問題が解ければ「卓越している」と判断される。						
(8)事前事後学習の内容	受講に際し事前に前回の講義で課した内容について予習が必要であるとともに，講義内容を習熟するために講義で課した課題に取り組む必要がある。 各1回の講義あたり事前・事後の学習時間は少なくとも4時間，合計60時間は確保すること。事前と事後の学習時間の配分は個々の学生の判断に任せる。						
(9)履修上の注意	授業で使用する資料を事前にe-ALPSからダウンロードするとともに，他に持参するものについてはメール等で指示する。						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	オフィスアワー・・・榎本：随時／連絡先・・・satoshi_enomoto@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	指定しない。						
【参考文献】	文部科学省『中学校学習指導要領解説 数学編』						